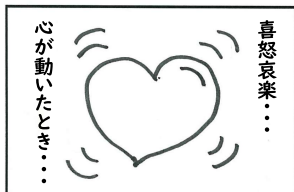




心が動いたときは
学びのチャンス!

コラタン *taikan*



いよいよスタートします!

新年、あけましておめでとうございます。

私たちのNPOコラルトは、昨年12月8日に東京都に設立申請を受理され、現在は設立認証申請の公表・縦覧期間中となります。

このまま順調にいけば、2月後半には認証され、数少ない開運日である3月15日（一粒万倍日+天赦日+寅の日）の設立登記を目指しています。



コラルトでは今後、新宿2丁目にて「新宿区の認知症サポーター養成講座」（区外からの参加も大歓迎です）を展開していきますが、今後の活動の展開にあたり、今回はその設立の経緯をご紹介します。

設立の主なきっかけは、発起人の私（たいこん）が“実際にリアルに”体感&経験した、次の3点でした。

①母が認知症を発症し、自分が参画するゲイのシェア・ハウスでしばらく預かっていたことから、認知症について学ぶ必要性があった。

②自分自身が臨死体験をしたことによって、長期継続のリハビリが必要となり、できないことが増えていく中で、今後の残された人生で何ができるかを考えた。

③老舗ゲイバーのママの訃報などに触れ、高齢化する新宿2丁目において、認知症に関する理解の場を設ける必要性を感じた。



なぜ、「コラルト」なのか?

COLOURFUL + ALTEREGO
COLALT

コラルトは「カラフル+オルタレゴ」の略称です。

- ▶COLORFUL: 色彩豊かな、色鮮やかな、生き生きした
- ▶ALTEREGO: 分身、もう一人の自分、無二の親友

それぞれの人々には様々な個性（多様性）があり、また個々の人それぞれの個性も、状況に応じていろいろな見え方（多面性）があるということを意味しています。

新宿区の認知症サポーター養成講座は運営上、通常は平日の日中の時間帯にしか開催していません。

そこで、休日や夜間の時間帯にも開催するために、個人的に展開しようと考え、その旨をお伝えしたところ、新宿区の担当者から快く賛同いただきました。

その後、養成講座の講師となるための講習を受けたいと主管の東京都に相談したところ、個人での展開はNGだという回答があり、NPO法人を設立するという選択肢を取りました。（講師資格認定済み）

※2024年4月から新宿2丁目のコミュニティセンター「akta」にて、月イチペースで、土曜日の夕方の時間帯で開催予定です。

NPO法人コラルトの目的は以下のとおりです。（定款より抜粋）
『この法人は、「認知症サポーター養成講座」を開催することを端緒として、LGBTQ+の当事者をはじめ、同様の悩みを持つ、広く一般の人々に向けたコミュニティ醸成活動を展開することにより、漸進的に「多様性を包摂する、持続可能な相互扶助の循環型コミュニティ」を形成していくことを目的とする。』

コラルトでは、参加するメンバーがそれぞれに個性を発揮して、お互いの個性を認め合うことによって、多様性を持つ生態系であるフローラのような柔軟性の高いコミュニティを形成することを目指しています。

「せっかく法人を創るのであれば、活用しない手はない」という思いから、この法人のありかたについてのグランド・デザインを考えました。

今回は、この法人をどのように活用していくのか、コミュニティ・デザインの観点から解説させていただきます。（たいこん）